

ロゴセラピーと私¹

北條久也

はじめに

令和7（2025）年1月に事務局の方からお声がけを頂き、特別レポートの発表をさせて頂きました。今回、この発表内容を整理すると共にまだご存知ない方にも知っていただくために文章としてまとめることとしました。是非、これを機に多くの方に知ってもらい、現在の活動を支援して頂ければ幸いです。

大まかな内容としては、1つ目は、私がロゴセラピーとどのように出会ったかについて、2つ目は、私が経験した東日本大震災について、3つ目は、しおかぜホームを立ち上げるきっかけとなった子育て支援課での様子について、4つ目は、しおかぜホームの内容について、5つ目は、今後の在り方について、最後はロゴセラピーとしての観点からです。

1. ロゴセラピーとの出会い

1) 傾聴活動との出会い

1994年頃、私は養護学校（現在の特別支援学校）に勤務しておりました。養護学校には様々な障害を抱えた子どもたちが通っていました。私は担任として生徒と接していました。主に生活指導が中心となり、知的な学習活動はほとんどない状態でした。自閉的な傾向の強い生徒は感情のコントロールがままならず、担任を叩いたり、つねったりすることが多くありました。全身、真っ黒な痣だらけの日々でした。自分の